

第5回市民懇話会 の振り返り

議題 1

目次

- 1 全体スケジュールと今回の議題 2
- 2 第5回市民懇話会の議題と主なご意見... 3

1 全体スケジュールと今回の議題

【各回のテーマ】

令和6年
12月20日

第1回

- ①緑の基本計画と富士市の現状を知る
- ②緑に期待する役割を考える

令和7年
2月5日

第2回

富士市の緑の将来像を考える

6月6日

第3回

将来像を実現するための取組を考える
(その1)

7月18日

第4回

将来像を実現するための取組を考える
(その2)

8月29日

第5回

次期計画の素案について

パブリックコメント (12月1日~1月5日)

令和8年
2月27日

第6回

パブリックコメントの結果報告と
計画案について

2 第5回市民懇話会の議題・テーマ と主なご意見

議題1 第4回市民懇話会の振り返り

議題2 第三次富士市緑の基本計画（案）について

議題2 第三次富士市緑の基本計画（案）について

将来像及び目標について

意見要旨	対応
各柱に対し、中間のアウトカム指標が1つしか設定されていないが、施策全体の効果を適切に測れるのか。	次期計画は、毎年作成するアクションプランの中で、各施策・取組に指標を設定し管理を行うこととしており、計画本編には主要な中間アウトカム指標のみを掲載しています。
柱3の中間のアウトカム指標「緑をはぐくむ活動団体数」は現状維持のまま、目標2「緑や花を育てる市民活動の活発さに関する市民満足度」を高めるには、活動頻度や密度、内容の質を向上させる必要がある。	各目標指標の設定の考え方を明確にするため、柱3の中間のアウトカム指標の説明として、活動団体数を維持しつつ、活動を活性化していくことで、緑や花を育てる市民活動の活発さの満足度向上に寄与していくことを追記しました。 (→計画案p.36～37)

議題2 第三次富士市緑の基本計画（案）について

施策・取組の方向性について

意見要旨	対応
「施策3 樹木・樹林の保全」の概要説明が、取組の内容に対し大きすぎる印象を受けた。	ご意見を踏まえ、対象が明確になるよう、説明文を「富士山の映える緑豊かな景観をつくる、市街地の内外の樹林や樹木を保全します。」に修正しました。 (➡計画案p.43、46)
「柱3 みんなではぐくむ」の各施策について、みんなで進めていく姿勢を打ち出すため、文中の「市民」という言葉を「みんな」に置き換えてもよいのではないかと。	ご意見を踏まえ、施策10、施策11の取組の方向性の文章の一部を見直しました。また、施策13の名称に「みんなで」を加えました。 (➡計画案p.54～56)

議題2 第三次富士市緑の基本計画（案）について

施策・取組の方向性について

意見要旨	対応
「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」「Well-being」など、一般市民になじみのない言葉が多い。丁寧に説明してほしい。	計画全体をとおして、わかりにくい表現の言い換え、用語集の追記を行いました。また、概要版にも語注を掲載しました。
横断的視点において、「施策5 農地等の保全活用」は、都市のレジリエンスの向上に分類されているが、市民農園も含むことから、ウェルビーイングの方を強く打ち出した方がよいのではないか。	農地自体が持つ保水機能や雨水浸透機能という視点を重視していますが、ご意見を踏まえ、ウェルビーイングにも関連する施策として位置付けを見直しました。 (→計画案p.58)

議題2 第三次富士市緑の基本計画（案）について

進捗管理ほか

意見要旨	対応
<p>多角的な視点からの評価は、アンケートや数値だけでできるものではない。市民懇話会のような場や、職員自ら現地に行って調べる、話を聞きに行くといった機会も設けながら評価に取り組んでほしい。</p>	<p>今回の計画改定を機に始めた、イベント会場で意見を伺う「オープンハウス」をはじめ、継続的に市民の意見を伺う取組を進めてまいります。</p>
<p>アセスメントの対象にならない小規模な太陽光発電施設が増え、緑が減少している。こうした変化は、アンケートだけでは気づけない。実態調査を行い、状況の変化を計画に反映してほしい。</p>	<p>土地利用に関わる開発行為を担当する都市計画課、富士・愛鷹山麓地域の保全を担当する環境総務課と連携し、適切な対応を継続してまいります。</p>